

テント泊



■活動場所 テントサイト

■所要時間 テント設営・シュラフ準備 2時間
テント撤収 1時間
*スタッフによる説明の時間を含みます。

■持ち物 利用の手引き『夢のアトリエ』にある「団体でご準備ください①」及び「テント泊について」をご参照下さい。

■活動の実際

①テント設営のレクチャー（説明）

- ・団体指導者の方が引率して、テントサイトへ集合ください。
- ・スタッフが実際に設営しながら、設営に必要な用具の確認と設営上の留意点、使い方について説明します。

②用具の準備

- ・テント小屋から必要な用具を運んで準備します。
【ドームテントの場合】テント本体、フライシート、ポール、ほうき、ちりとり（土デッキの場合はブルーシート、ハンマー、ペグを追加）
- ・マット2枚は、本体の設営が終わってから運びます。

③テント設営

- ・テント位置（サイトの番号）を確認してから設営します。
- ・説明にしたがってテントを設営していきます。
- ・ポールの扱いについては十分ご注意ください。
【取り扱い上の注意】
 - ・ポールを初めから1本につなぎ合わせて通さない。袋に通す際につなぎ合わせ、つなぎ合わせが確実にできているか確かめながら通す。
 - ・ポールは、押しながら通すようにする。途中、ポール先端が袋に引っかかりやすいため、一人は袋を持ちポールを通しやすいように道筋を確保する。

④シュラフ（寝袋）の使い方のレクチャー（説明）と準備

- ・シュラフの使い方、たたみ方についての説明を聞き、準備します。
- ・一人につきシュラフとシーツが1つずつです。寒い時には毛布を使うことができます。（いずれもベガに収納されています。）
- ・翌朝に、レクチャー通りにまとめたものをベガの所定の場所に返却します。返却する際には、引率指導者によるチェックをお願いします。

⑤テント泊

- ・テントから離れる際は、テントの出入り口のファスナーを必ず閉めましょう。
- ・午後10時～午前6時まで静かな時間となるよう、十分なご指導をお願いします。
- ・トイレの電気は、夜間つけたままの状態で構いませんが、内部に虫が入らないようにトイレの戸を必ず閉めるようにご指導下さい。また、翌朝のトイレの消灯をお願いします。

⑥テント撤収

- ・朝のうちにシュラフ、シーツ、マット等を元の場所に返しておきます。
- ・テント撤収の仕方についての説明を聞き、テントを撤収します。
- ・雨天時の撤収についてはご相談させていただきます。

■活動にあたって

- ドームテント（5～6人）は30張、ソロテント（1～2人）は30張使用できます。また、ウッドデッキは13基ですので、それ以上は地面に設営することになります。
- 雨や強風が予想される場合は、テント泊の決行についてご相談させていただくことがあります。（館内の使用状況にもよりますが、館内テント泊やシュラフでの雑魚寝も可能です。）
- テントには宿泊に必要な物品のみを持ち込むことをおすすめします。荷物は雨天時用に割り当てられた宿泊室等に置いておくことができます。

※裏面もご覧ください。

■事前打ち合わせ会で

利用が重なっている団体間で、設営する場所や使用するテント数等について調整していただきます。

①団体間で

- 複数の団体で使用する場合は、ウッドデッキ数と土デッキ数、テント数を話し合いの上決めていただきます。

②団体内で

- 1 張に泊まる人数から張り数を決定していただきます。
- 所要時間を考慮しながら、活動日程を決めていただきます。
- テント撤収の時間を必ず設定願います。ただし、夜露や呼気による湿り気を乾かすため、撤収時間は1 1 時以降が理想的です。この時間以外に撤収を希望する場合は、ご相談ください。

テント設営・撤収の流れとポイント

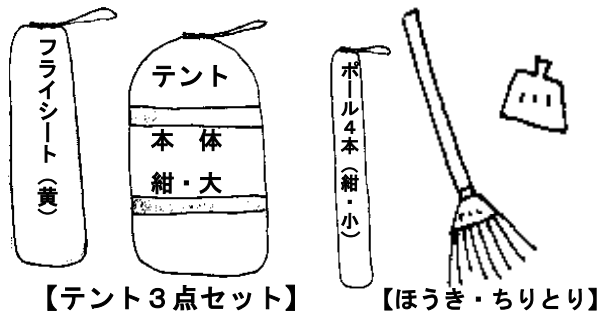
①テント設営の説明

- ・実演しながら、テント設営に必要な用具や設営上の留意点、使い方を確認します。

②テント用具の準備

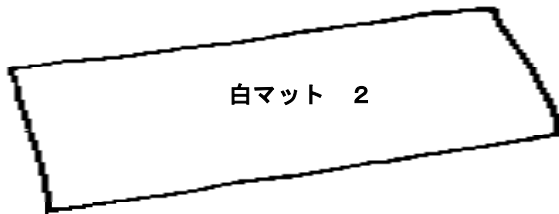
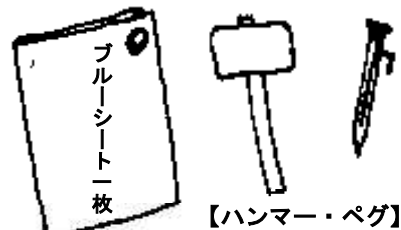
- ◆ 1 テントに必要な用具（テント小屋に収納）

【ウッドデッキに設営の場合】



【土デッキに設営の場合】

- * 下記の用具も必要となります。



- * 白マット 2 枚は、テント本体設営後に準備します。

③テント設営

- ・割り当てられたテントサイト（番号）を確認する。
- ・テント小屋から必要な用具をテントサイトへ運ぶ。

【ウッドデッキの場合】

- (1) テント本体を六角形に広げる。（出入り口が上を向くように）

- (2) 図 1 のように、黄色の袋 3 カ所にポールを通す。

注1) ポールを初めから 1 本につなぎ合わせて通すことはせずに、袋に通す際に確実ににつなぎ合わせ、つながり合わせが確実にできているか確かめながら通す。

注2) ポールを通す際は、押しながら通すようにする。途中、ポール先端が袋に引っかかりやすくなるため、一人は袋を持ちポールを通しやすいように道筋を確保することがスムーズに通すためのポイント。

- (3) ポールの先端を、ポールが通った先にある赤茶色のナイロンテープにある本体から遠い鳩目（図 2）に入れる。

- (4) 4 本目のポールを 1 本につなぎ合わせ、ポールをテント頂部のナイロンテープだけに通し、テント入口側から反対側へ伸ばす。

ポールの両先端を本体低部の長めのナイロンテープの鳩目に入れる。

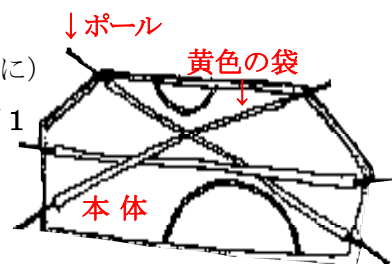


図 1

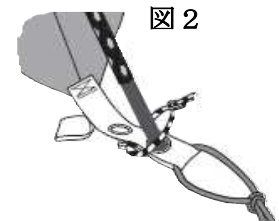
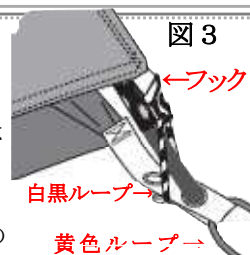


図 2

- (5) フライシートをテント本体の空気穴とフライシート空気穴の高さが合うように被せ、白黒ループをフックにかけ固定させる。(図3)
- (6) 黄色ループをウッドデッキに備え付けのビニール紐に結びつけ固定させる。
- (7) 白マット2枚をテント内に敷き詰め、本体の入っていた袋にポールの袋、フライシートの袋をまとめテント内に保管する。



【土デッキの場合】

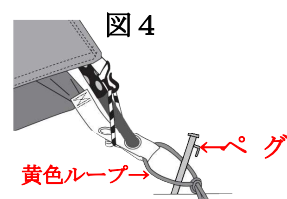
- (1) ブルーシートをテント底面大に広げ敷く。

注1) ブルーシートを大きく広げすぎると、雨天時にブルーシートに溜まった雨水がテント本体へ流れ込んでしまう。

- (2) ウッドデッキ同様にテントを設営する。
- (3) 黄色ループをペグにかけ土に打ち込む。(図4)

注2) ペグを斜めに打ちつけることでループの張りをよくします。

- (4) ウッドデッキ設営(7)と同様に保管する。但し、残りのペグと木植はバケツにまとめ、テント本体とフライシート間(出入り口の広いスペース)に保管する。



④シュラフ(寝袋)の使い方

◆シュラフ シュラフ用シート1枚 *寒いときは毛布の使用も可(ベガに収納)

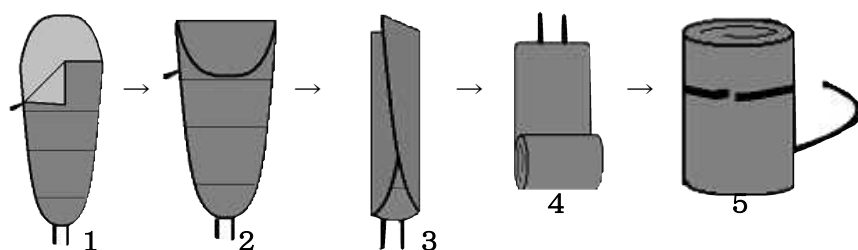
- (1) シュラフを開き、シュラフ用シートを足先へ入れる。
- (2) シュラフ用シートで体全体を包むようにする。

*服装は、春から秋口にかけてはジャージ等が望ましい。

⑤シュラフ(寝袋)のたたみ方・返却の仕方(テントを撤収する日の朝に実施)

- (1) シーツを取り出し、シュラフのチャックを閉め広げる。(図5参照)
- (2) シュラフの頭になる部分を折りたたむ。
- (3) シュラフを3つ折りにして長方形を作る。
- (4) 頭の部分から足の部分へきつく丸め、円柱を作り固定バンドをする。
- (5) 円柱底面部を整え、どちらの底面を下にしても立てる状態であること確認する。
- (6) 引率者の点検の元、所定の場所へ返す。
- (7) シーツは、広げた1枚のシートで残りのシートを風呂敷の要領で包み、ベガ内にある返却用の青いカゴに入れる。

図5: シュラフのたたみ方



⑥テント撤収

(1) 白マットを取り除き、テント内を掃除する。

注1) 降雨時はスタッフと相談の上、対応を決定する。

(2) 黄色ループに結んだビニール紐と白黒ループをフックからはずす。

(3) テント本体からフライシートをはずしてたたむ。たたんだらフライシート用の袋（黄）に入れる。（図6）

(4) 鳩目からポール先端をはずし（6カ所）テント本体内部の空気をぬく。

(5) ポールを袋から取り除き、折りたたんだらポール用の袋（紺小）に入れます。

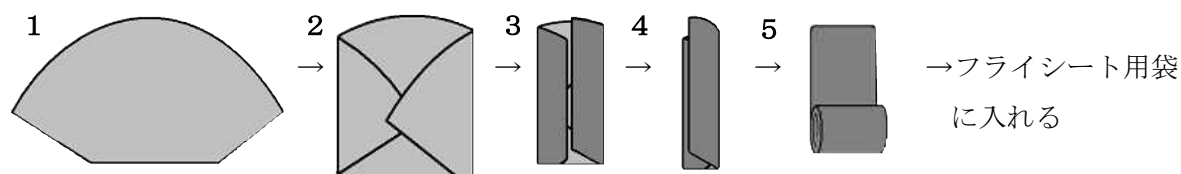
注1) ポールを袋に入れた時と同様に、ポールを押し出すようにして取り除く。

注2) ポールを押し出すときに生じる袋のしわを伸ばす際には、ポールを引くことなく袋のしわだけを伸ばすようにすると取り外しが容易になる。

(6) 本体を六角形に広げたのち本体をたたみ、本体用の袋（紺大）に入れる。（図7）

(7) テント用具をテント小屋の所定場所に戻す。

図6：フライシートのたたみ方



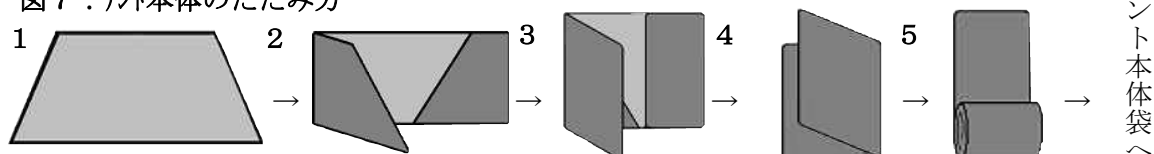
1：出入り口のチャックを折り目にして、上下2枚を合わせオムレツ型にする。

2：オムレツ型の角を真ん中に合わせて折る。

3：さらに真ん中まで折りたたむ。 4：折り合わせを折り目にして合わせる。

5：空気が抜けるように頂部からきつく丸めていく。

図7：テント本体のたたみ方



1：本体を半分に折りたたむ。（台形になるように）

2：長方形になるように角を真ん中に合わせて折る。

3：さらに真ん中まで折る。注）空気が溜まるので空気を抜いてから次の作業に入る。

4：折り合わせを折り目にして合わせる。

5：きつく丸め、丸めたら袋へ入れる。注）空気が溜まるため、空気を抜きながら丸める。

テント設営・撤収は以上のようなパターンで進めます。ポイントをご確認いただき、スムーズに活動できるよう子どもたちへ適切なアドバイスをお願いします。